

新緑の荒船山・浅間山プラス鉄色の温泉

山行委員会

5月の20日前後、この時期は信州の1000m辺りは新緑が最も美しいと言われる。恐らく中部山岳エリアで山を楽しめる最高の季節であろう。それに赤茶色の鉄分たっぷりの温泉で身体を癒そう、という贅沢な山行計画である。

今年の春山計画は当初は伊那山地の最高峰である鬼面山にチャレンジする計画だった。なかなか行きにくい山域なので楽しみにしていたが、菊地リーダーの情報収集によりアプローチの林道が台風被害で通行止めになっており、当面開通の見込みがないとことが判明した。昨年の群馬県の子持山山行の際も通常ルート of 林道が大雨で崩壊したままになっており、群馬県庁の話では生活道路ではないので当面復旧の計画はないという話であった。最近では過去にはなかった豪雨被害も多く、これからはアプローチの林道情報には注意が必要であろう。

急遽の計画変更であったため参加者は5名と少なかったが期待は十分に満たされた充実した山行であった。

荒船山は軍艦山と呼ばれる得意な形状の山で内山峠から2時間程登ると絶壁の艦岩に着く。ここからは山頂部なのであるがほとんど平ら、まさに高原散歩である。遠景で見た軍艦の甲板部分を歩いているのだ。全く不思議な山である。へそのような突起である経塚山が本当の山頂であった。

天狗温泉浅間山荘は浅間神社を經由する参拝道の入り口にある昔からの宿である。古くから大いに賑わったルートであり、途中には火山館があり観測のため常駐している。なかなか変化に富む楽しいルートであるが、標高差は1000m以上ありそれなりに登り甲斐がある。

まさに五月晴れの気持ちの良い浅間山頂（前掛山）で展望を満喫した。昨年8月に噴火警戒レベルがレベル1に引き下げられ登山が解禁されたので結構な登山者の数である。やはり浅間山は日本の名山である。



新緑の中を攀じるー荒船山



浅間山山頂ー満足したあ